

体育科学習指導案

平成 27 年 10 月 27 日 (火) 5 校時
うるま市立南原小学校 2 年 1 組
男子 15 名 女子 13 名 計 28 名

1 単元名 「体づくり運動」(多様な動きをつくる運動遊び)
～わくわくランドにレッツゴー!～

2 単元の目標

- (1) 体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体の基本的な動きができるようにする。【運動】
- (2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。【態度】
- (3) 体づくりのための簡単な運動の行い方を工夫できるようにする。【思考・判断】

3 運動の特性

(1) 一般的特性

多様な動きをつくる運動は、小学校の低・中学年の時期に「体の総合的な動きを身につける」ことを直接のねらいとして行われる運動である。高学年の「体力を高める運動」のように、直接体力の向上をねらいとすることは難しいので、将来の体力の向上につなげていくために、器械運動やゲームなど、体づくり運動以外の各運動領域で扱いにくい様々な体の動きを培う必要性から生まれ、行われる運動である。

(2) 児童からみた特性

動きづくり遊びのおもしろさは、あらかじめ意図的に用意された、様々な体の基本的な動きを培う運動ができるかどうかである。具体的には、バランスを保つ、速さ・リズム・方向などを変えての体の移動、いろいろな用具の操作、重い物を持ちたり力比べなどをしたりすることができるかどうかにおもしろさを感じる。

4 児童の実態

本学級の児童は、明るく学習に対して意欲的である。体育に関するアンケートの結果からも分かるように、体育の学習が好きな児童や仲間と一緒に運動をすることが楽しいと感じている児童が多い。また、全員が「もっと運動が得意になりたい」と感じている。しかし、中には、体の使い方が分からず運動を楽しめていない児童や身体的に運動制限のある児童(先天性水頭症につき体にバルブが入っている・左半身に麻痺がある)もいる。

新体力テストの結果からは、男女共に上体起こし(筋持久力)、20m シャトルラン(持久力)、立ち幅跳び(跳躍力)が県平均よりも下回っていることが分かる。新体力テストの結果も踏まえながら、各種の運動に必要な基本的な技能が身に付くような運動遊びを意図的に仕組んでいく。

体育に関するアンケート結果 (平成 27 年 9 月実施)

	項目	
1	体育の学習は好きですか	好き 27 人 きらい 1 人(下手だから)
2	体育の授業で、どんな学習が好きですか (複数回答可)	ドッジボール 21 人, 水遊び 19 人, かけっこ 12 人, サッカー 11 人, なわとび 10 人 (体を動かすことが好きだから, みんなと楽しく運動できるから, いろいろなことができるようになるから)
3	苦手な運動は何ですか	マット運動 5 人, かけっこ 3 人, 跳び箱運動 2 人, 鉄棒運動 2 人, ダンス 2 人 (こわいから, できないから, 難しいから)
4	もっと運動が得意になりたい	なりたい 28 人 なりたくない 0 人

	ですか	
5	休み時間は、どのように過ごしていますか	体育館や運動場で遊んでいる 16人 教室で過ごしている 12人 (絵を描く, 本を読む, 消しゴムゲームをする, 教室の玩具で遊ぶ, クイズをする)
6	放課後・休みの日は、どのように過ごしていますか (複数回答可)	スポーツ部に入っている 5人, 家族とお出かけが多い 7人, ゲームで遊んでいる 10人, 塾や習いごとに行っている 7人, 外で遊んでいる 7人
7	学校の登下校はどうしていますか	登下校とも車 12人, 登校だけ車 4人, 下校だけ車 2人, 登下校とも歩き 10人
8	仲間と一緒に運動をすることは楽しいですか	はい 26人, どちらともいえない 2人, いいえ 0人

平成 27 年度新体力テストの結果 (県平均との比較)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
男子	11. 80	11. 50	29. 43	32. 33	21. 37	11. 04	113. 80	14. 23
県平均	10. 62	13. 00	27. 57	30. 95	22. 12	11. 12	123. 91	13. 19
比較	1. 18	▼1. 5	1. 91	1. 38	▼0. 75	0. 08	▼10. 11	1. 04
女子	10. 64	10. 28	34. 08	32. 20	16. 88	11. 50	105. 92	7. 64
県平均	9. 67	12. 06	29. 78	29. 33	17. 66	11. 57	113. 72	7. 51
比較	0. 97	▼1. 78	4. 3	2. 87	▼0. 07	0. 07	▼7. 8	0. 13

5 研究主題との関わりについて

- (1) 研究テーマ 「運動に親しみ, 進んで運動に取り組む児童の育成」
～体づくり運動を通して～

体育に関するアンケートでは、96%の児童が「体育の学習は好き」と答えており、全員が「もっと運動が得意になりたい」と感じていることが分かった。しかし、43%の児童が休み時間を教室で過ごしていたり、放課後や休日も習いごとやゲームをしたりしている。また、学校の登下校も車を利用している児童がほとんどで、日常的に運動に取り組めていない現状である。

そこで、本単元では、4つの視点から研究テーマである「運動に親しみ, 進んで運動に取り組む児童の育成」に迫っていく。

- 1, 手軽にできる運動遊びや友達とできる運動遊びを紹介し、運動への興味関心を持たせる。
- 2, 運動遊びを通して、「もっとやってみたい」「うまくなりしたい」という気持ちを持たせる。
(運動への意欲を高める)
- 3, 友達と一緒にやる運動遊びを通して、友達と一緒に運動する楽しさや心地よさを感じさせる。
- 4, 運動のポイントを明確にし、個に応じた指導を行うことで、体の基本的な動きを身に付けさせる。
(できる喜びを味わわせる)

運動に楽しさや喜びを感じることで、児童は運動がより好きになり、進んで取り組むようになると思われる。体育の学習に限らず、家庭や休み時間でも運動を行うようになると、次第に運動も日常化していくだろう。

6 指導にあたって

多様な動きをつくる運動遊びは、「体のバランスをとる運動遊び」、「体を移動する運動遊び」、「用具を操作する運動遊び」、「力試しの運動遊び」で構成されている。児童はこれまでに1人でおこなう運動遊びを経験してきた。そこで今回は、「体を移動する運動遊び」と「用具を操作する運動遊び」の友達と一緒にやる運動遊びに取り組み、3学期に「体のバランスをとる運動遊び」と「力試しの運動遊び」に取り組む。児童が楽しみながら体の基本的な動きが総合的に身に付けられるように、テーマ(わくわくランド)を設定したり、グループやペアで動きのコツを見つけたりしながら運動遊びに取り組んでい

く。また、個に応じた指導を行い、できる喜びや体を動かす楽しさを味わわせていきたい。配慮の必要な児童（先天性水頭症につき体にバルブが入っている・左半身の麻痺がある）は、支援員と連携を取りながら運動の補助や支援をおこなっていく。

(1) 場の工夫

- ・「体を移動する運動遊び」では、児童が楽しみながら「歩く・走る・跳ぶ」動きに取り組むことができるように、ゲーム性の高い運動遊びを選定する。
- ・「用具を操作する運動遊び」では、お互いに声を掛け合ったり教え合ったりできるように、グループやペアで運動遊びに取り組ませる。
- ・友達の良さや工夫が見えるように、体育館の内側に向かって運動遊びに取り組ませたり交代で取り組ませたりする。

(2) 指導の工夫

- ・動きのポイントや動きのコツ、工夫例を掲示する。
- ・勝敗や回数等ではなく、動きのポイントに気を付けて運動遊びに取り組むように意識させる。

(3) 学び合いの工夫

- ・お互いに声をかけ合ったり教え合ったりできるように、運動が得意な児童と苦手な児童のバランスを考え、グループ編成やペアづくりをおこなう。
- ・動きのポイントに気を付けている児童や動きを工夫している児童を紹介し、動きのポイントや工夫の仕方を全体で共有する。

(4) 声かけの工夫

- ・「わくわくランドのマナー」(安全・協力・声かけ・ルール)を絶えず意識させる。
- ・学級通信で運動する児童の様子を紹介したり広場を運動用に開放したりするなど、家庭や休み時間でも動遊びを継続するように呼びかける。
- ・うまくいかない児童やグループには、動きのポイントやコツを意識するように声をかけたり、友達の動きを見て考えるように声をかけたりする。

7 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ・運動の順番やきまりを守り、友達と仲よく運動をしようとしている。 ・友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。 ・運動をする場や用具の使い方などの安全に気を付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知るとともに、運動をする場や使用する用具などを変えながら、いろいろな運動の仕方を見付けている。 ・多様な動きをつくる運動遊びの動き方を知るとともに、友達のよい動きを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体を移動したり、用具を操作したりする動きができる。
学習活動に即した評価規	<ul style="list-style-type: none"> ①いろいろな多様な動きをつくる運動遊びに進んで楽しく取り組もうとしている。 ②友達と仲良く運動したり、順番を守ったり、運動を行う上でのきまりを守ろうとしていたりしている。 ③友達と協力して用具の準備や片付けをしようとしている。 ④運動する場を横切ったり、周りとはぶつからないように間を 	<ul style="list-style-type: none"> ①多様な動きをつくる運動遊びのそれぞれの行い方や動き方を知っている。 ②多様な動きをつくる運動遊びで、動きを選んだり、友達のよい動きを見付けたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①姿勢や方向を変えて、体を移動する動きができる。 ②用具を操作し、用具に合わせた動きができる。

準	あけたり、使った用具を片付けたりするなどの安全のきまりを守ろうとしている。	
---	---------------------------------------	--

8 単元の指導計画と評価計画

第2学年 単元名：わくわくランドにレッツゴー！（多様な動きをつくる運動遊び） 領域：体づくり運動 配当時間：8時間				
時間	学習内容	学習活動に即した評価規準		
		関心・意欲・態度	思考・判断	運動
1	1, 学習内容を確認する。 やってみる 2, わくわくランドのマナーを確認する。 3, 体を移動する運動遊びに取り組む。 【どうぶつランド】 ・「じゃんけんすごろく」 4, 南原っ子元気体操をする。 5, 用具を操作する運動遊びに取り組む。 【なわとびランド】 ・くぐり抜け 6, 学習の振り返りをする。	①②③④ (観察) (学習カード)		
2	1, 学習内容を確認する。 やってみる 2, わくわくランドのマナーを確認する。 3, 体を移動する運動遊びに取り組む。 【スピードランド】 ・「オセロゲーム」 4, 南原っ子元気体操をする。 5, 用具を操作する運動遊びに取り組む。 【なわとびランド】 ・「ゆうびん屋さん」 6, 学習の振り返りをする。			①② (観察) (学習カード)
3	1, 学習内容を確認する。 ひろげる 2, わくわくランドのマナーを確認する。 3, 体を移動する運動遊びに取り組む。 【どうぶつランド】 ・「じゃんけんすごろく」 4, 南原っ子元気体操をする。 5, 用具を操作する運動遊びに取り組む。 【なわとびランド】 ・くぐり抜け 6, 学習の振り返りをする。		①② (観察) (学習カード) (発言)	
4 本時	1, 学習内容を確認する。 ひろげる 2, わくわくランドのマナーを確認する。 3, 体を移動する運動遊びに取り組む。 【スピードランド】 ・「オセロゲーム」 4, 南原っ子元気体操をする。 5, 用具を操作する運動遊びに取り組む。 【なわとびランド】 ・「ゆうびん屋さん」 6, 学習の振り返りをする。			①② (観察) (学習カード)

5	1, 南原っ子元気体操をする。 やってみる 2, 学習内容を確認する。 3, わくわくランドのマナーを確認する。 4, 体を移動する運動遊びに取り組む。 【びよんびよんランド】 ・「陣取りじゃんけん」 5, 用具を操作する運動遊びに取り組む。 【フラフープランド】 ・2人でぐるぐる, 2人でころころ 6, 学習の振り返りをする。	①②③④ (観察) (学習カード)		
6	1, 南原っ子元気体操をする。 やってみる 2, 学習内容を確認する。 3, わくわくランドのマナーを確認する。 4, 体を移動する運動遊びに取り組む。 【おにおにランド】 ・「ふえ鬼」 5, 用具を操作する運動遊びに取り組む。 【ボールランド】 ・ボール運び 6, 学習の振り返りをする。			①② (観察) (学習カード)
7	1, 南原っ子元気体操をする。 ひろげる 2, 学習内容を確認する。 3, わくわくランドのマナーを確認する。 4, 体を移動する運動遊びに取り組む。 【びよんびよんランド】 ・「陣取りじゃんけん」 5, 用具を操作する運動遊びに取り組む。 【フラフープランド】 ・2人でぐるぐる, 2人でころころ 6, 学習の振り返りをする。		①② (観察) (学習カード) (発言)	
8	1, 南原っ子元気体操をする。 ひろげる 2, 学習内容を確認する。 3, わくわくランドのマナーを確認する。 4, 体を移動する運動遊びに取り組む。 【おにおにランド】 ・「ふえ鬼」 5, 用具を操作する運動遊びに取り組む。 【ボールランド】 ・ボール運び 6, 学習の振り返りをする。			①② (観察) (学習カード)

9 うるま市具体的実践9項目との関わり

実践9項目	本単元と具体的関わり
ねらいを明示した授業の実施	「本時のめあて」を明示し, 学習の見通しをもたせる。
教材・教具・説明の工夫	動きのポイントや動きのコツ, 工夫例を掲示する。
言語環境の整備と言語活動の充実	グループで互いの意見を交流する。
習得したことを活用する場の設定	「やってみる」で習得した動きのポイントとコツを「ひろげる」で活用する。
自己評価の実施	本時の学習を振り返り, 学習カードに記入する。
学習習慣の確立	話す態度や聞く態度を意識させる。

10 本時の指導（4／8）

（1） 本時の目標

- 体を移動させたり，用具を操作したりする動きができる。【運動】
- 運動の仕方を工夫することができる。【思考・判断】
- 場や用具の使い方などの安全に気を付け，友達と仲良く運動に取り組むことができる。【態度】

（2） 授業仮説

運動遊びに取り組む場において，動きのポイントや工夫の視点を示すことで，動き方や工夫の仕方が分かり，楽しみながら体を移動させたり用具を操作したりする動きを身に付けることができるであろう。

（3） 準備物

- ・長なわ（3本） ・カラーコーン（8個） ・赤と白の箱（56個） ・ストップウォッチ
- ・ビブス ・カラーボード ・わくわくボックス（くじ） ・移動黒板 ・プロジェクター

（4） 展開

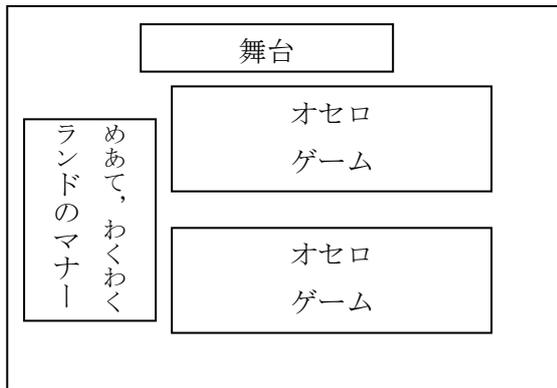
	主な学習活動	教師の働きかけ	評価
導入 5分	1, 学習内容を知り，本時のめあてを確認する。 うごきをくふうしながら体をうごかさう。 2, わくわくランドのマナーを確認する。	・児童が工夫の仕方をイメージできるように，工夫の視点を示す。	
展開 35分	3, 体を移動する運動遊びに取り組む。 【スピードランド】 ・オセロゲーム 4, 南原っ子元気体操をする。 5, 用具を操作する運動遊びに取り組む。 【なわとびランド】 ・「ゆうびんやさん」	・動きのポイントを振り返り，全体で共有する。 ・わくわくランドのマナーを意識させる。 ・友達のよい動きを見つけるように声をかける。 ・体の伸び縮みや手首の動きを意識させる。 ・場の安全を確かめてから運動するように声を掛ける。 ・うまくいかない児童には，動きのポイントやコツを意識するように声をかけたり，友達の動きを見て考えるように声をかけたりする。 ・各グループの工夫を紹介し，全体に価値づける。	・姿勢や方向を変えて，体を移動する動きができる。【観察】 ・用具を操作し，用具に合わせた動きができる。【観察】
まとめ 5分	6, 学習の振り返りをする。 7, 次時予告。	・めあてに戻り，自己評価（挙手）をさせる。 ・次は，新しい運動遊びに取り組むことを伝える。	

（5） 評価

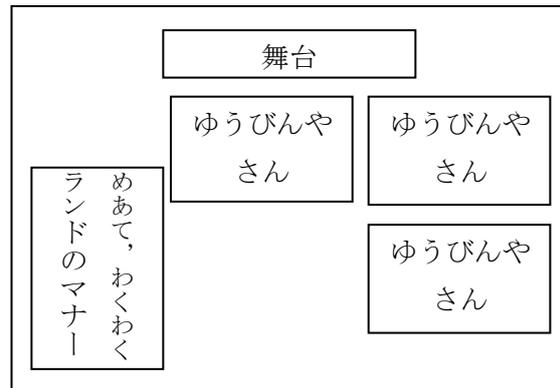
- 体を移動させたり，用具を操作したりする動きができたか。【運動】
- 運動の仕方を工夫することができたか。【思考・判断】
- 場や用具の使い方などの安全に気を付け，友達と仲良く運動に取り組むことができたか。【態度】

11 場の設定

- ・体を移動する運動遊び(オセロゲーム)



- ・用具を操作する運動遊び(ゆうびん屋さん)



わくわくランドのマナー

- 1, けがをしないように, あんぜんに気をつけます。
- 2, グループのともだちと, 力を合わせます。
- 3, じょうずにできたら, ふわふわことばをつかいます。
- 4, しっぱいしても, はげましことばをつかいます。
- 5, ルールを, しっかりまもります。